

## 課題、懸案事項、今後の取り組み方針

### 【課題、懸案事項】

- ・ハード面について  
開園して14年目を迎え、施設の老朽化が進行しており、計画的な施設の修繕が必要である。
- ・ソフト面について  
今後、少子高齢化による来園者数の減少が見込まれる。

### 【今後の取り組み方針】

- ・動物展示について  
動物展示については、現在の100種、500点を確保し、どうぶつ公園としての教育機能を維持していく。
- ・シニア世代の来園促進  
今後の少子高齢化に鑑み、動物だけではなく四季折々の植物を充実させることにより公園としての魅力を高め、シニア世代の来園につなげる。
- ・近隣市町村からの来園促進  
下関市や福岡市及び周辺市町村からの来園促進を図るため、市外向けに重点を置いた広報・PRを行っている。
- ・マダガスカル事業の促進  
市が取り組んでいる「世界の自然環境保護への貢献」や「自然環境教育機能の向上」に協力するとともに、新たな魅力として日本で飼育されていないカンムリキツネザルやアカビタイキツネザルについて、早期の展示を目指している。